

第2回

Thinktank

2D Exhibition

(シンクタンクの2次元展示会)



【第二回目 会社紹介&(株)東京信友シルウオッチ紹介】

展示日:2025年2月3日

有限会社シンクタンク

【会社紹介】

第一回目は会社概要をお知らせいたしました。今回は下記のお知らせです。

【有限会社シンクタンクはなぜ有限会社のままなのか？】

日本国内の法人の大半は株式会社か有限会社になります。ご存じの方もおられると思いますが、2006年に新会社法が施行される前は「株式会社」設立には資本金 1,000 万円、「有限会社」設立には資本金 300 万円が必要でした。

しかし、この新会社法で「株式会社」が大規模企業のみならず小規模企業までも想定されるものとされ、小規模企業を想定した「有限会社」制度は不要となり廃止されました。

現在の有限会社(特例有限会社)と現在の株式会社の大きな違いは資本金の額と従業員数です。

2006 年以前の有限会社の設立には最低資金 300 万円、社員数 50 名以下という規定がありましたが、現在の株式会社の設立には資本金 1 円、従業員数制限なしで OK となりました。

2006 年の新会社法施行以降、有限会社は「特例有限会社」に移行され、今から設立することはできません。年配の方の中には「なんだ有限会社か」などと「有限会社」を「株式会社」よりも見下した言い方をされる方がおられますが、現在では設立が浅い株式会社よりも「有限会社」の方が信頼があるのです。

有限会社という名称から、その会社が古くから営んでいる優良企業ということが一目でわかることが大きな理由なのです。

有限会社シンクタンクは設立27年目になります。

これからもお取引先様のご支援・ご協力をお願い致します。

代表取締役社長 舟崎智芳

事業紹介

商社：国内外の制御・FA・半導体・電子部品取扱（捜し物など海外からの輸入代行業務）

台湾各メーカー代理店契約：DINKLE 社・CONQUER 社・HOLY 社

ハーネス・基板実装・制御盤製作・協力会社に依頼

基板出荷検査 検査治具作成から梱包までを本社 2 階で作業

基板開発（回路設計から AW 設計まで）シンクタンク VIETNAM

メーカー(株)東京信友シルウオッチの販売店契約締結 聴覚障害者補助機器販売

企業向けシルウオッチシステム販売

ホームページ：<https://thinktank-jp.com/>

本社営業時間：9時から17時まで（12時～13時昼休み）

埼玉サテライト営業時間：10時から16時まで（12時～13時昼休み）

【(株)東京信友 シルウオッチ紹介】

【(株)東京信友紹介】1983年:創業

1985年:株式会社東京信友を設立

1998年1月:設立者の齊藤 勝が難聴者であることから聴覚障がい者のより自由で安心のいく生活を求めて聴覚障がい者の用情報機器の開発をてがけ新宿区に福祉機器事業部を設置 1999年夏第一作として【シルウオッチ】を世に送り出す。これが東京都中小企業新商品・新技術開発助成対象品に指定されたことを契機に自治体を中心に本格的に販売を開始 2001年10月【シルウオッチ】を特定小電力化し、新モデル製品を完成この開発が2001年東京都ベンチャー技術大賞奨励賞受賞 2002年3月その後相次いで開発したオリジナル商品が評価され、東京都新宿区及び東京商工会議所新宿支所から優良企業賞経営革新賞受賞 2005年2月関東ろう連盟より、聴覚障がい者の日常生活のために多大な貢献をしたことにより表彰を受ける 2009年5月経済産業省明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社に選ばれる 2009年12月内閣府バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰内閣総理大臣賞受賞

2022年3月:設立者 齊藤 勝が92歳で引退、長年、東京信友の商品の開発・製造を請負っておりました昭和電子産業株式会社 代表取締役の吉沼昭夫に売却 2022年4月代表取締役に吉沼昭夫が就任新組織・新体制構築、新商品開発も聴覚障がい者向け商品を原点に再構築開始

2022年10月:聴覚障害者向け【次世代シルウオッチ】開発開始 第49回国際福祉機器展(東京ビッグサイト)にて発表

2022年11月:2023年2月~3月 次世代シルウオッチ販売開始予定

2024年12月:次世代シルウオッチ販売延期 2025年に販売予定

【シルウオッチとは】

シルウオッチは東京信友の商標登録製品です。

シルウオッチは重要なメッセージを振動や文字、光・音などで確実に伝える無線通信型デバイスです。

現在、シルウオッチは単方向と双方向の2種類です。

単方向シルウオッチは聴覚障がい者様向け無線通信型デバイスです。

双方向シルウオッチは法人企業様向けで生産ライン管理・施設内の情報伝達機器など様々な利用方法があります。

【シルウオッチ導入事例】

- 自動車関連(生産ライン異常通知):トヨタ自動車・デンソー・トヨタ紡績・豊田自動機・アイシン精機・スズキ自動車・本田技研工業・日産自動車・三菱自動車など
- 自動車関連(聴覚障害者向け情報通知・呼び出し):ヤマハ発動機・豊田合成・ジェイテクト・三菱自動車
- その他製造関係:村田製作所・クボタ・富士通・花王・NEC・グローリー・日立製作所など
- サービス小売関連:西友・サミット・日本マクドナルド・帝国ホテル・サミット・イトーヨーカドーなど
- 福祉施設関連:しもふさの郷・エクセレント徳島・友愛ホーム・湯村温泉病院・さやま園など
- その他:ミサワホーム・パナホーム・クリナップ・ダイフク・東芝テック・川崎重工・三菱化学・フランスベッドなど

【用途別】生産ライン異常通知・生産ライン完了通知・無線式住宅用火災警報器・入居通知・ナースコール・万引き防止用
災害発生時呼び出し・大型スーパーレジ釣銭機異常通報・聴覚障害者用通信装置など

【企業向け用途】

導入シーン1

運用方法：押しボタン入力

必要機器



SWSR-2130 腕時計型送受信器シルウォッチ
SWC-1140 充電器
SWSR-P125 送受信器

導入ユーザー：建機メーカー様

導入前

フォークリフト操縦者に完成品等を回収依頼を PHS で呼び出していたが操縦者の運転中に使用すると事故発生や通話中だった場合、待機時間が発生して効率下がってしまう。

導入後

身に着用できるシルウォッチと複数名に一斉呼出を行い、効率改善と安全性を強化致しました。

導入効果

- 作業員の事故や怪我に繋がる業務を軽減。
- PHS料金 年36,000円/1台の経費削減。
- 通話時間 20分/月の時間削減。

作業効率 UP 業務改善

導入ユーザー：車製造メーカー様

導入前

責任者を呼び出す際に作業者がブザーを鳴らして合図をしていたが、責任者が近くにいない場合対応が遅くなり、ブザー音が激しい為、近隣の方への迷惑になってしまう。

導入後

責任者が近くにいなくても、無線方式ですぐに通知が可能になり、振動とメッセージで通知をする為、工場のサイレント化が実現しました。

導入効果

- 近隣への騒音を軽減。
- 呼出時の待機時間 600分/月時間削減。

作業効率 UP サイレント化

導入シーン2

運用方法：無電圧接点入力必要機器

必要機器



SWSR-2130 腕時計型送受信器シルウォッチ
SWC-1140 充電器
SWSR-P125 送受信器
S-0213-2 2 接点入力コード

導入ユーザー：工具製造メーカー様

導入前

1階にある自動製造機の生産完了する時間に合わせタイマーをセットしているが、2階事務所で作業すると異常停止していないか、確認しに行く必要があり非常に効率が悪い。

導入後

異常停止時と生産完了時に無線で通知する為、確認の手間が省くことで時間効率の改善へ繋がりました。

導入効果

- 他の作業への効率改善。
- 確認時間 1,000分/月の時間軽減。

作業効率 UP 業務改善

導入ユーザー：聴覚障がい者雇用企業様

導入前

火災や地震発生時に音で知らせる手段だと、気付くことが出来ない為、音以外で知らせる手段と簡易的に連絡するツールを採用したい。

導入後

振動とメッセージで通知することが出来る為、課題の解決へと繋がりました。

導入効果

- 聴覚障がい者スタッフへの安全対策。
- 簡易指示ツールとして通知。

無線を使用している為、あくまでも補助機器としてご利用下さい。

安全対策

【聴覚障害者様の主な使い方】

来客時のインターホンの呼出し、振動と文字で通知



デモ機貸出をしています。

ご相談は下記のメール又は担当者へお願い致します

メールアドレス: all.business@thinktank-jp.com